

	都市機能	学習日 月 日	名前
--	-------------	------------	----

要点ノート P116～

【都市の発達と機能】

都市化

都市周辺の農村が、宅地化・工場・住宅・商店の進出、通勤者の増加などで都市的性格を持つようになる現象

① 都市の拡大 … 大都市の形成

- ・ 政治・経済・文化の中心をなす(1) = 巨大都市の形成
- ・ 周辺都市を影響下に抑え、(2)を形成

② 都市人口率 … 都市部に居住する人口割合

- ・ 先進国では都市で産業の高度化によって雇用機会が増大し、都市人口率が高くなる
- ・ 途上国では農村の余剰人口が都市に流入し都市人口率が高くなっていく。しかし、雇用機会が少ないためホームレスが増加し、(3)が形成される

③ コナーベーション = 連接都市

- ・ 市街地の拡大で隣接する複数の都市が一つの都市域を形成。
- ・ (4)地方 = ドイツ、五大湖周辺 = アメリカ、京浜地区 など

④ メガロポリス = 巨大都市

- ・ 複数の大都市圏が交通、通信網で結合した帯状の超巨大都市圏
- ・ アメリカのメガロポリス = ニューイングランドの(5) ～ 首都(6)
- ・ (7)メガロポリス … 東京都市圏～京阪神大都市圏

都市の地域区分

＜都心＞

中心業務地区 = (8)

- ・ 中枢管理機能が集中 = 大企業の本社や銀行の本店、官公庁(政府行政機関)など
- ・ 高い昼夜間人口指数

例) 丸の内・大手町・霞が関(東京)、シティ(ロンドン)、マンハッタン(ニューヨーク)

都心商店街

- ・ 小売 … デパート、高級専門店など。地価が高い

例)銀座

- ・ 卸売り … 港湾、河川沿い、駅周辺に立地、近年は郊外に卸売団地形成

例)日本橋

＜副都心＞

都心の中核管理機能を分担。都心と郊外の結節点。鉄道(9)を形成例)(10)、渋谷、池袋、ラ・デファンス(パリ)

＜その他＞

工業地区、漸移地区、周辺商店街、住宅地区

＜郊外住宅都市＞

(11)都市 = 鉄道沿線にニュータウンができる
例)武蔵野、町田、多摩、所沢、松戸、浦安、柏

都市の内部構造に関するモデル

1. 同心円モデル

パーージェスが提唱。CBDを中心に漸移地帯(卸売り・軽工業)、低～高級住宅地が同心円状に配列

2. 扇形構造モデル

ホイトが提唱。CBDを中心に交通路に沿って漸移地帯、住宅街が扇形に配列

3. 多核心構造モデル

ハリス・ウルマンが提唱。都市内のそれぞれの機能が中心性を持ち、副都心や郊外住宅地も形成。